

総合演習Ⅲ・Ⅳ

国試対策の振り返りと今後の取組み



クラス目標

千葉医療福祉専門学校 作業療法学科
2024年3月

23期生
国家試験対策
振り返り

23期生 国家試験対策 年間予定

月	内容
12月	国家試験・進級試験説明
1月	評価実習 QBノルマ設定 (QB共 5問/日)
2月	進級試験模試、進級試験対策学習 (教員学習支援、学習方法伝達)
3月	進級試験 (40%以上)、実習中国試対策検討、実習前学習 (グループ・個人)、就活説明
4月	実習中学習 (QB共 5問/日) <u>リハドリル導入</u>
5月	実習中学習 (QB共 5問/日)
6月	校内模試 (50%以上)、実習中学習方法検討、実習中学習 (QB共通 5問/日)、
7月	実習中学習 (QB共 5問/日) <u>QB共1週目完了</u>
8月	実習中学習 (QB共10問/日 専10問/日)、学習G結成、校内模試 (150点以上)、就職説明会
9月	就活・国試対策 (QB共10問/日 専10問/日)、 <u>基礎強化勉強会</u> 、校内模試 (<u>168点以上</u>)
10月	就活・国試対策 (QB共15問/日 専15問/日)、校内模試
11月	国試対策 (QB共15問/日 <u>2週目完了</u> 専15問/日 <u>1週目完了</u>)、業者模試 (160点以上)
12月	国試対策 (QB共30-40問/日 専30-40問/日)、 <u>業者模試 (180点以上)</u>
1月	国試対策 (QB共50問/日 <u>3週目完了</u> 専50問/日 <u>2週目完了</u>) <u>三輪160点以上</u> 、 <u>業者模試200点以上</u>
2月	国試験策 (QB共50問/日 <u>4週目完了</u> 専50問/日 <u>3週目完了</u>) 卒試210点以上、 <u>国試200点以上 = 全員合格</u>

23期生 国家試験対策 実績

月	内容
12月	国家試験・進級試験説明
1月	評価実習 QBノルマ設定 (QB共 5問/日)
2月	進級試験模試、進級試験対策学習 (教員学習支援、学習方法伝達)
3月	進級試験 (平均54.7点 全員合格)、実習中国試対策検討、実習前学習 (グループ・個人)、就活説明
4月	実習中学習 (QB共 5問/日) <u>リハドリル導入</u>
5月	実習中学習 (QB共 5問/日)
6月	校内模試 (50%以上)、実習中学習方法検討、実習中学習 (QB共通 5問/日)、
7月	実習中学習 (QB共 5問/日) <u>QB共1週目完了</u>
8月	実習中学習 (QB共10問/日 専10問/日)、学習G結成、校内模試 (137点)、就職説明会
9月	就活・国試対策 (QB共10問/日 専10問/日)、 <u>基礎強化勉強会</u> 、校内模試 (<u>198点</u>)
10月	就活・国試対策 (QB共15問/日 専15問/日)、校内模試
11月	国試対策 (QB共15問/日 <u>2週目完了</u> 専15問/日 <u>1週目完了</u>)、業者模試 (164点以上)
12月	国試対策 (QB共30-40問/日 専30-40問/日)、 <u>業者模試 (178点)</u>
1月	国試対策 (QB共50問/日 <u>3週目完了</u> 専50問/日 <u>2週目完了</u> トライ過去問共) <u>三輪169点</u> 、 <u>業者模試210点</u>
2月	国試験策 (医歯薬ライセンス、国家試験過去問過去10年 400問/日) 卒試223点、 <u>国試204点 = 全員合格</u>

23期生 国家試験対策（計画）

- 自律性：議長を中心に話し合う機会の設定と朝の会と夕方の会の運営
- 健康管理：食事、睡眠～生活リズム意識づけ、指導
 ストレス対処
 問題軽減法＝就活、国試対策への具体的支援
 情動軽減法＝福利厚生係を中心に1回/月のイベント
- 学習：ノルマ設定を行う（国試直前までノルマ設定を行う）
 基礎強化（9-10月に基礎3科目強化勉強会）
 早期に重点介入グループ、個人の特定、仲間同士の支え合い
 リハドリル（問題演習の量確保、隙間時間の活用など）
 4年生進級試験の意義を伝え、試験対策支援を強化する+基準検討
- 模試：2022年度同様（医歯薬3+1回+アイペック4回+三輪1回）
 目安＝全国平均+20点、偏差値60 ※最低でも全国平均、偏差値50
 緊張感のある環境で実践的練習であることを意識させる

自律性

議長を中心に話し合う機会の設定と朝の会と夕方の会の運営

《結果》

- 議長を中心に相談しつつ国試対策の修正作業を行った
（ノルマの設定やスケジュールなど）
- 朝と夕方の会は議長が進行
- 朝の会ではラジオ体操も実施した
- 教員に対する要望事項も議長から相談があった

健康管理

- 食事、睡眠～生活リズム意識づけ、指導
 ストレス対処
 問題軽減法 = 就活、国試対策への具体的支援
 情動軽減法 = 福利厚生係を中心に1回/月のイベント

《結果》

- 体調の浮き沈みのある学生はいたが、登校できなくなるなどの顕著な体調不良の学生はいなかった
- 国試直前は感染対策、体調管理指導などを意識的に行った
- 問題軽減法はOT学科教員の協力によって実施
- 情動軽減法、イベントは学生主体で数回実施

学習

- ノルマ設定を行う（国試直前までノルマ設定を行う）
基礎強化（9-10月に基礎3科目強化勉強会）
早期に重点介入グループ、個人の特定、仲間同士の支え合い
リハドリル（問題演習の量確保、隙間時間の活用など）

《結果》

- ノルマ設定は議長、クラスと相談しながら設定と修正を行う
- 基礎強化：9月～10月はグループ単位での勉強会
11月下旬の模試結果により危機感～基礎強化の雰囲気↑
- 重点介入グループ：OT学科教員全体で継続的にフォロー
グループ学習→個別学習支援
- リハドリルは受け入れイマイチ（登録9名）

国試結果と模試について

59回(23期生) 国家試験 結果

合格率 現役 : 13/13 (100%)
浪人含 : 15/15 (100%)

平均点 総合 : 204点 (72.9%)
専門 : 133.4点 (74.1%)
共通 : 70.6点 (70.6%)

◎合格者(クラス平均点以下) = 共通基礎の得点率が60%台
200点以上で合格のためには、
➔ 共通基礎科目(特に基礎3科目)の強化

模擬試験

模擬試験：8回受験

国試本番：180点台学生

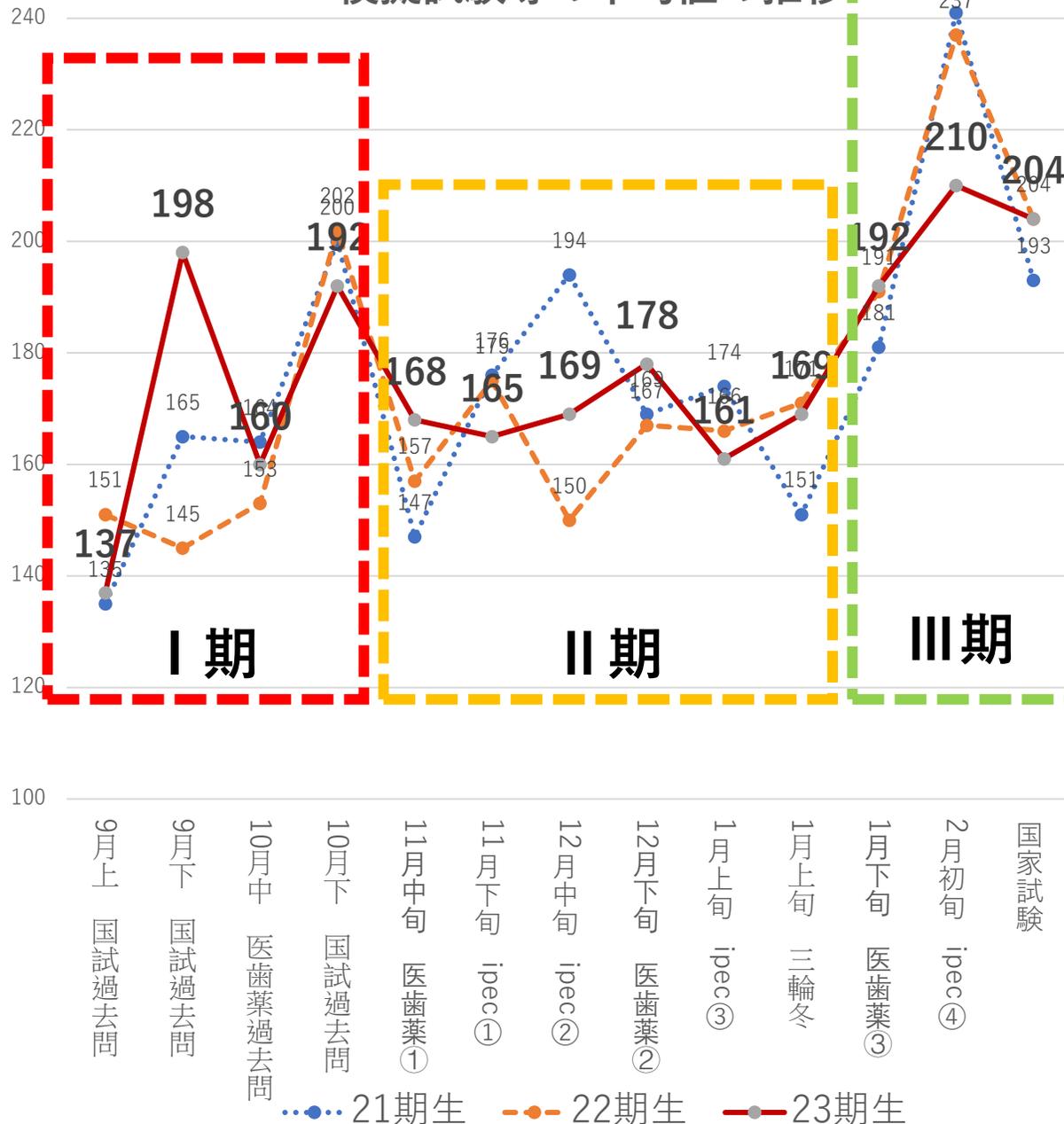
= 模試平均点が168点以下

模試で168点以上が1～2/8回

(クラス平均平均4.7/8回)

◎ **早い段階（12月初旬）までに168点以上達成**
その後複数回の合格点以上⇒余裕をもって合格へ

模擬試験等の平均値の推移



【I期】 9月～10月 2か月間
基礎固め、国試過去問で200点取れるレベルを目指す。

《23期生》

最初の1か月での伸びは良好。業者模試レベルとの差が明確であった。

【II期】 11月～1月上旬 2.5か月
業者模試が始まる時期。初見問題への対応、弱点強化をしつつ力を充実させていく。

《23期生》

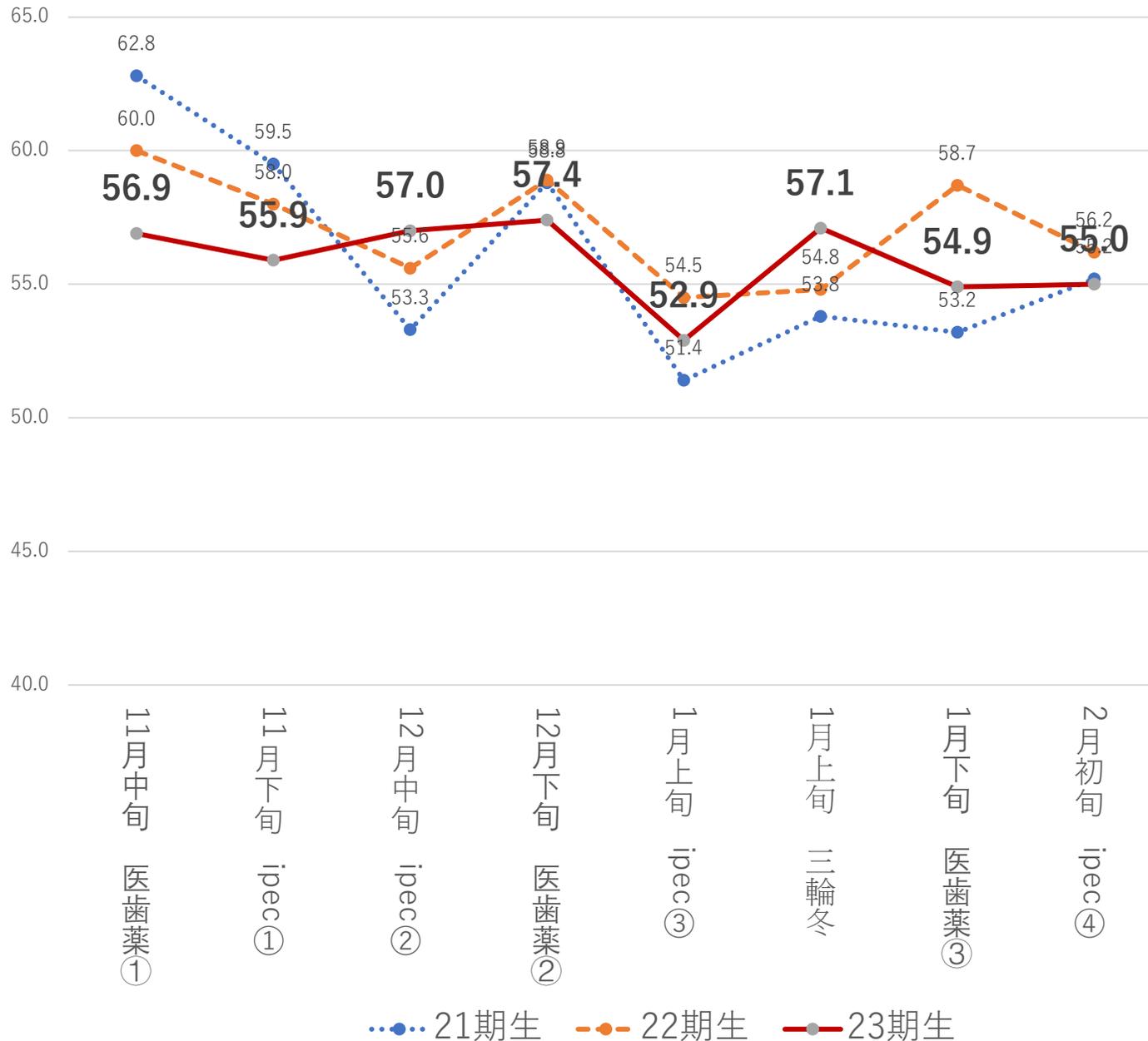
クラス平均は合格点付近で推移し、大きな振幅は発生しなかった。

【III期】 1月下旬～ 約1か月
仕上げの時期。業者模試でも概ね200点を超えるレベル。

《23期生》

クラス全員が合格点を上回ることができた。

業者模試偏差値推移



21期生：クラス平均偏差値56.0
 上位約27%
 (51.4～62.8) 幅11.4

22期生：クラス平均偏差値57.1
 上位約24%
 (54.5～60.0) 幅5.5

23期生：クラス平均偏差値55.9
 上位約27%
 (52.9～57.1) 幅4.2

【23期生】

偏差値の平均値は21期、22期と明確な差はない。変動幅は、21期生、22期生と比較すると小さかった。

個人偏差値40は要注意
 (上位約84%)

模擬試験

模試の成績				
日付	模試名	23期クラス平均	全国平均	全国との差
11月10日	医歯薬①	166.1	146.2	19.9
11月24日	アイベック①	164.6	146.3	18.3
12月15日	アイベック②	169.7	149.8	19.9
12月29日	医歯薬②	178.5	158.4	20.1
1月5日	アイベック③	159.5	151.8	7.7
1月11日	三輪 冬	169.5	151.8	17.7
1月19日	医歯薬③	193.9	171.8	22.1
2月3日	アイベック④	210.2	194.4	15.8
平均		176.5	158.8	17.7

全国との差：平均17.7点（前年度18.3点）

「成績の余裕＝精神的余裕」となるので、ストレス管理の側面からも余裕のある得点状況が望ましい

◎クラスの目安：平均点＝全国＋20点以上、クラス最低＝全国平均、偏差値50

模擬試験

模試・卒試と国試の相関関係

日付	模試名	相関係数	評価
11月10日	医歯薬①	0.69506634	中程度の相関
11月24日	アイペック①	0.83539398	強い相関
12月15日	アイペック②	0.73138382	強い相関
12月29日	医歯薬②	0.86020232	強い相関
1月5日	アイペック③	0.63860998	中程度の相関
1月11日	三輪 冬	0.82046347	強い相関
1月19日	医歯薬③	0.76681479	強い相関
2月3日	アイペック④	0.62517109	中程度の相関
2月6日	卒試	0.55061603	中程度の相関

業者模試と国家試験は、いずれも中程度～強い相関を示していた。

アイペックについて学生からは「クセが強い」とのコメントもあるが、医歯薬同様に中程度～強い相関である。

卒試に関しては、「中程度の相関」だが、模試等の中では最も相関が低く、カリキュラム変更を踏まえた変更はされていない。

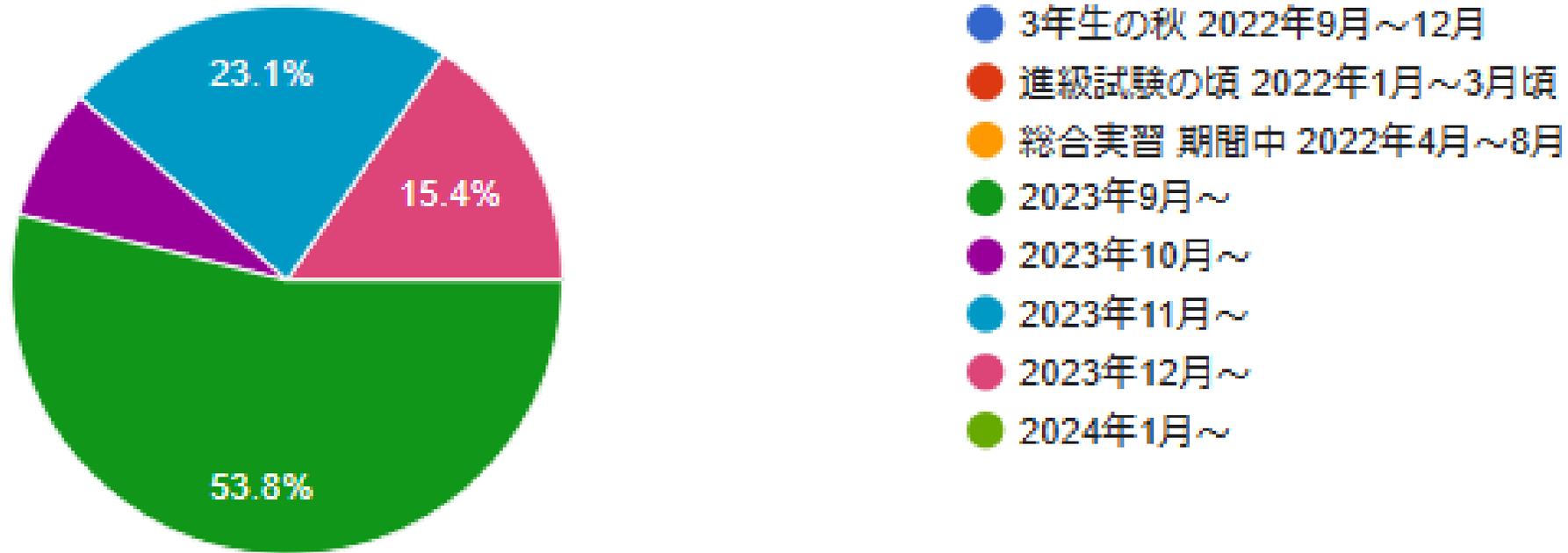
◎2024年度も2023年度同様の業者模試で良いと思われる。

◎卒業試験はカリキュラム変更を踏まえた見直しが必要。

23期生アンケートより

質問：

国家試験を意識して本格的に勉強を開始したのはいつですか。



実習後の「4年生9月～」との回答が53.8%で最多、次いで就活後の「4年生11月～」が23.1%であった。

回答理由：

実習が終わったから。

実習中は実習のことで頭がいっぱいでした。

実習中は、国家試験の勉強をあまりできなかったもので、実習終了後から意識して勉強しました。

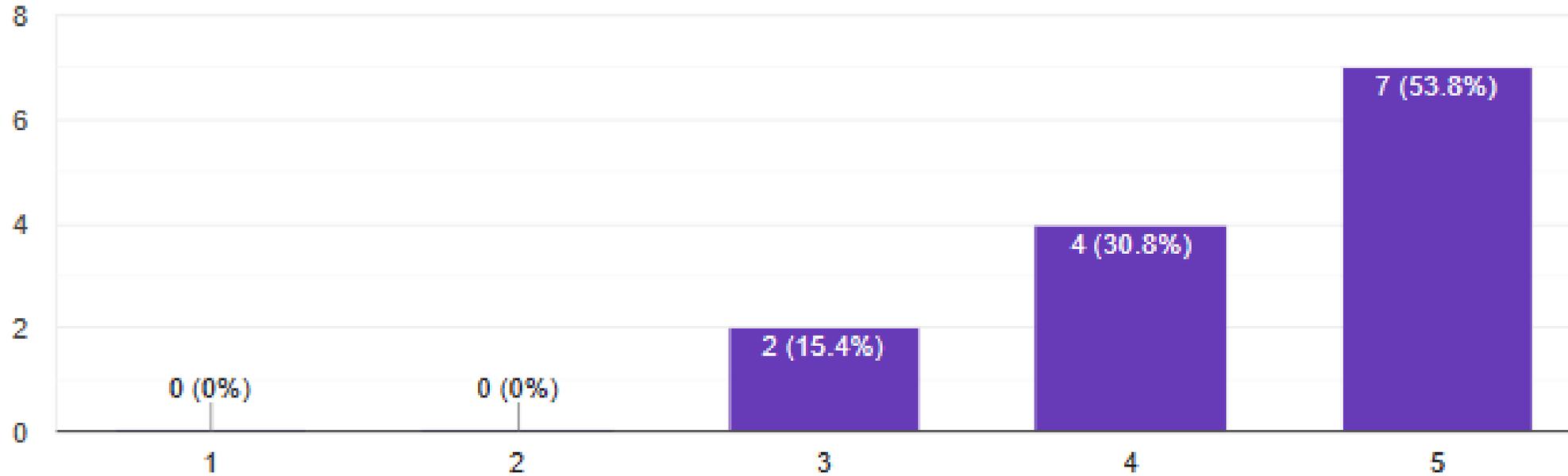
実習中は、国試勉強がなかなか出来なかったので9月からやりはじめました。

それまでの間も勉強習慣をつけるべくQBをやってはいたが、実習が終わってすっきり向き合えるようになったのはその頃からかなと思う。

就活が終わって勉強に集中出来るようになったから。

本格的な開始は実習後の9月から。9月までは助走期間であることを学生に伝え、その期間の過ごし方について検討する必要あり。

質問：
進級試験と国家試験対策の勉強には関連性があると思うか？



関連性がない ----- 関連性がある

多くの学生が進級試験（基礎3科目模試）と国家試験勉強に関連性を感じている（81.6%）。

回答理由：

3科目は取り問題なので、そこを確実にとれるようになると、点数が安定してきます。

基礎三科目も沢山出るので大事だと思います。

科目模試対策で復習しておけると、国試対策を始めてから3科目にかける時間を他の復習に割く余裕ができ、国試でも得点源にできると思うから。

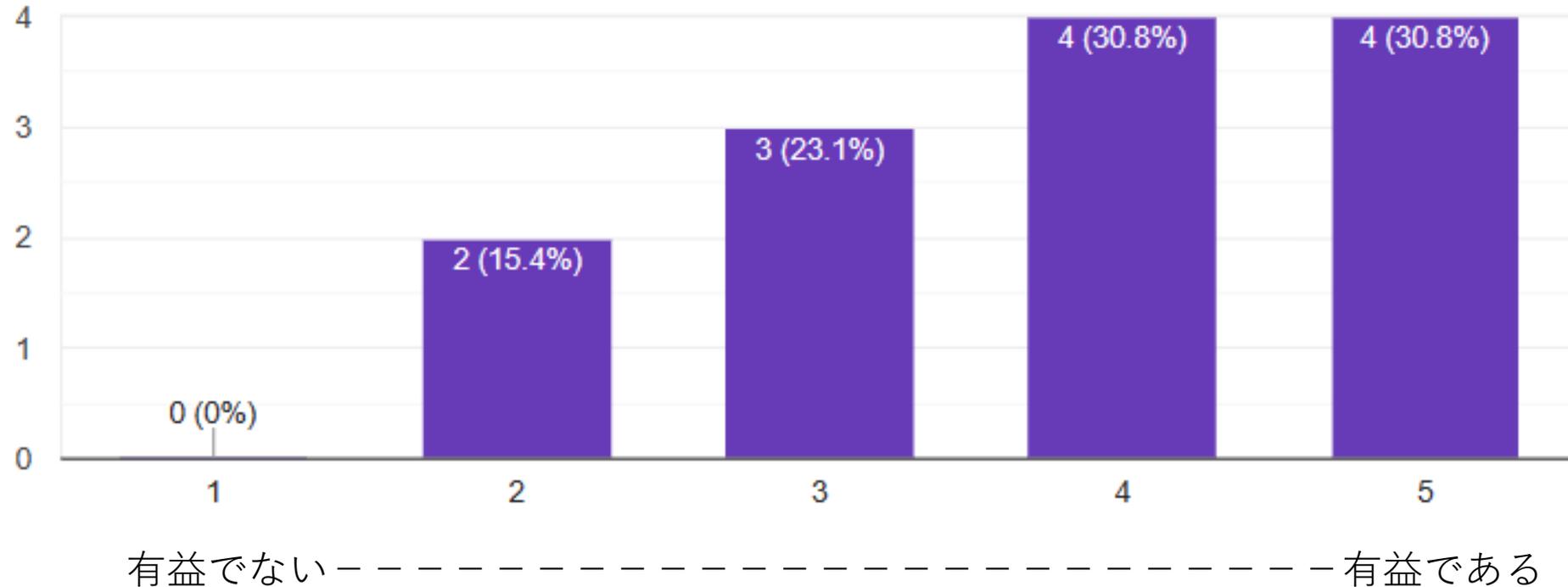
基礎科目の成績を伸ばすのが難しいから早めに手をつけた方が良いから。

勉強のやり方がそのまま国試勉強に繋がると思うから

進級試験（3科目模試）の勉強不足は国試対策において周りにはかなり遅れをとる要因だったと思う。

進級試験の段階である程度のがつくように支援することが望ましい。

質問：
実習中のノルマ設定は有益か？



約6割の学生が有益である（4・5）と回答している一方で、一部の学生は有益性を感じられていない。

回答理由：

コツコツやったことで知識が蓄積されたと思います。

ノルマがあることにより勉強習慣をつけやすかった。

QBでやると問題がまとまっているので見やすいし、QB自体分かりやすいのでいいです。

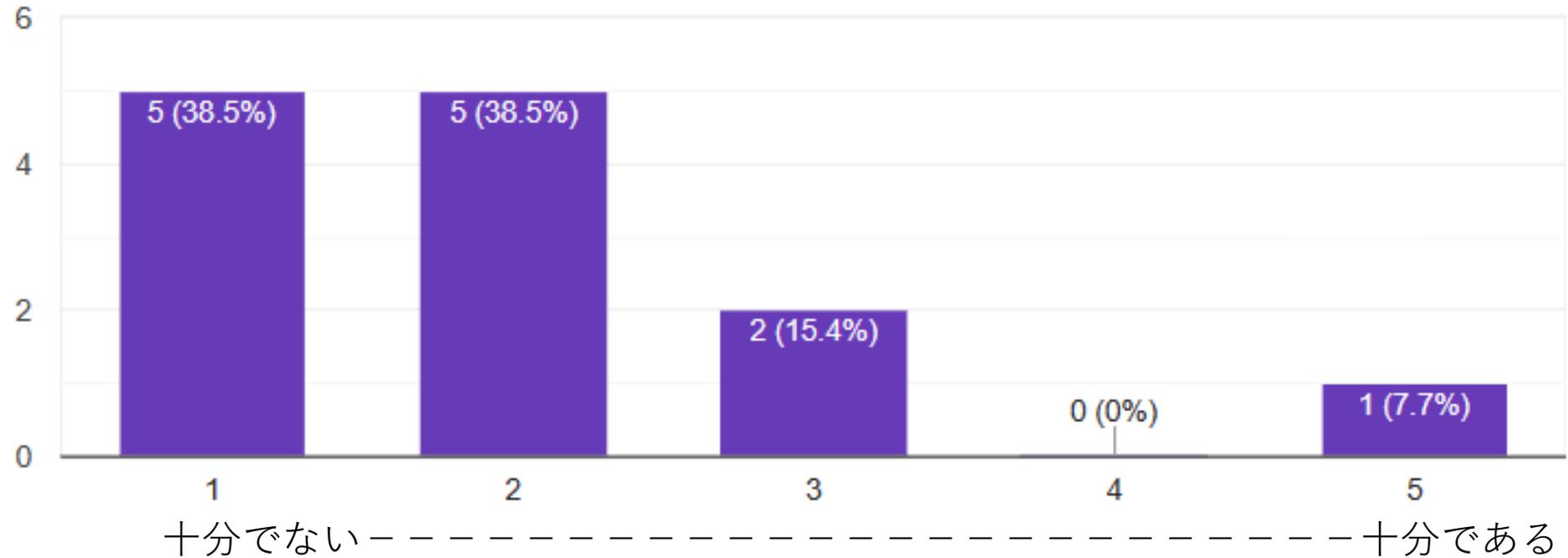
国試問題の雰囲気慣れておくだけでも大切だと思う。

週末にやってたっちゃやってたけど、殆ど記憶に残ってない。

ノルマを設定していない場合、何から手をつければわからない状態になると考えるため指標があるのは、助かるなと感じたため。

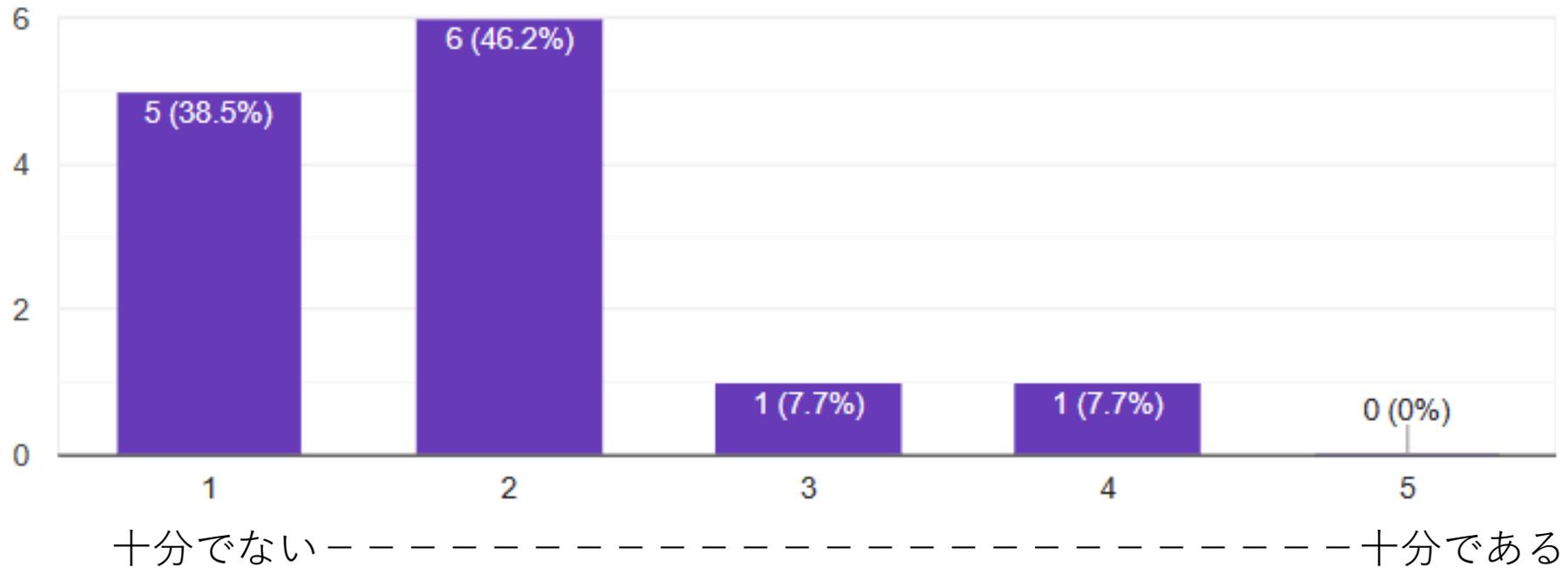
**中途半端な実施は学習効果の実感がない。
継続的に実施することで学生は意義を感じる。**

質問：
総合実習 I 期 実習と国試対策の両立は？



約7.5割の学生が実習と国試対策の両立に困難を感じていた。

質問：
総合実習Ⅱ期 実習と国試対策の両立は？



約8.5割の学生が実習と国試対策の両立に困難を感じていた。

回答理由：

休日を使って最低限のノルマを行うことができたが、十分に行うことができません。

実習で精一杯で国家試験勉強に手をつけることが出来なかったから。

実習で精一杯になり、国試勉強との両立が難しかったです。実習でいっている分野を、国試対策として勉強できたら良いと思いました。

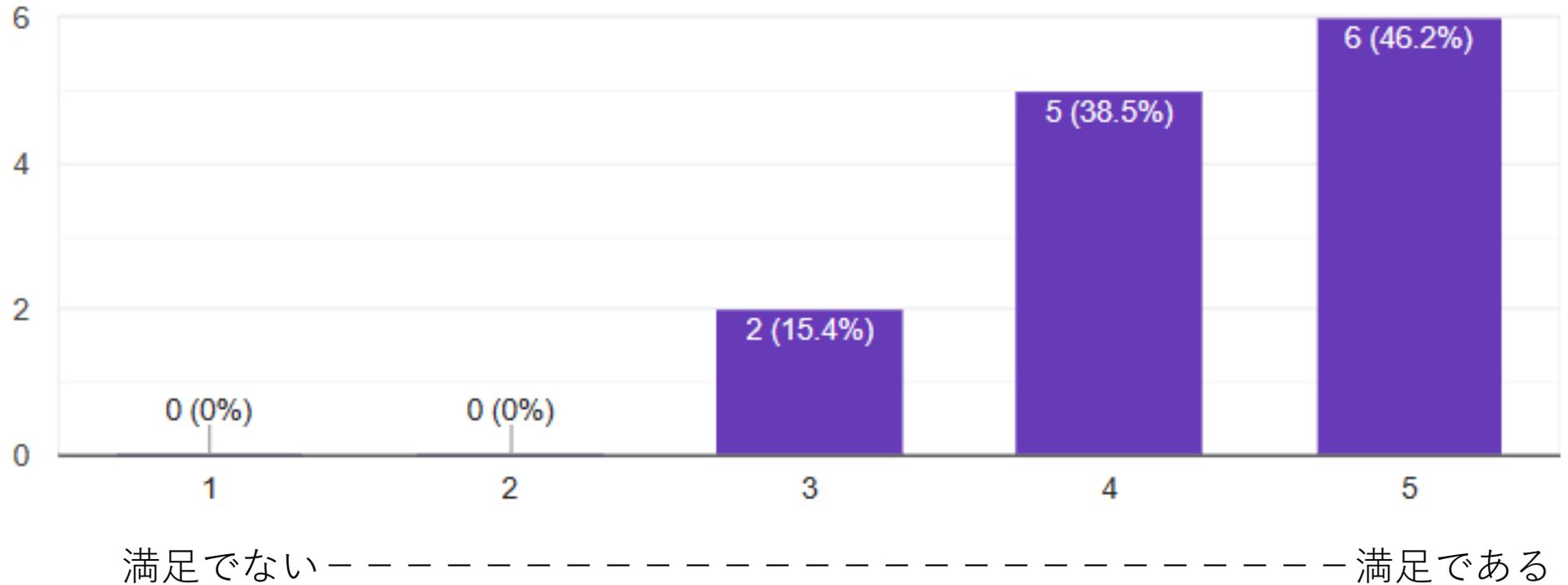
実習の課題に追われて国試対策はできなかった。実習の内容が国試に繋がることもあるので、実習の課題等で忙しい時はそちらに集中して、国試対策はQBのノルマを解くだけでも良いと思う。

前期は各々でやってて、週末だけできたり出来なかったりと言った感じ。後期は週末に勉強グループで通話繋いでやってたから前期に比べれば有意義だったと思う。

両立に困難を感じていた。

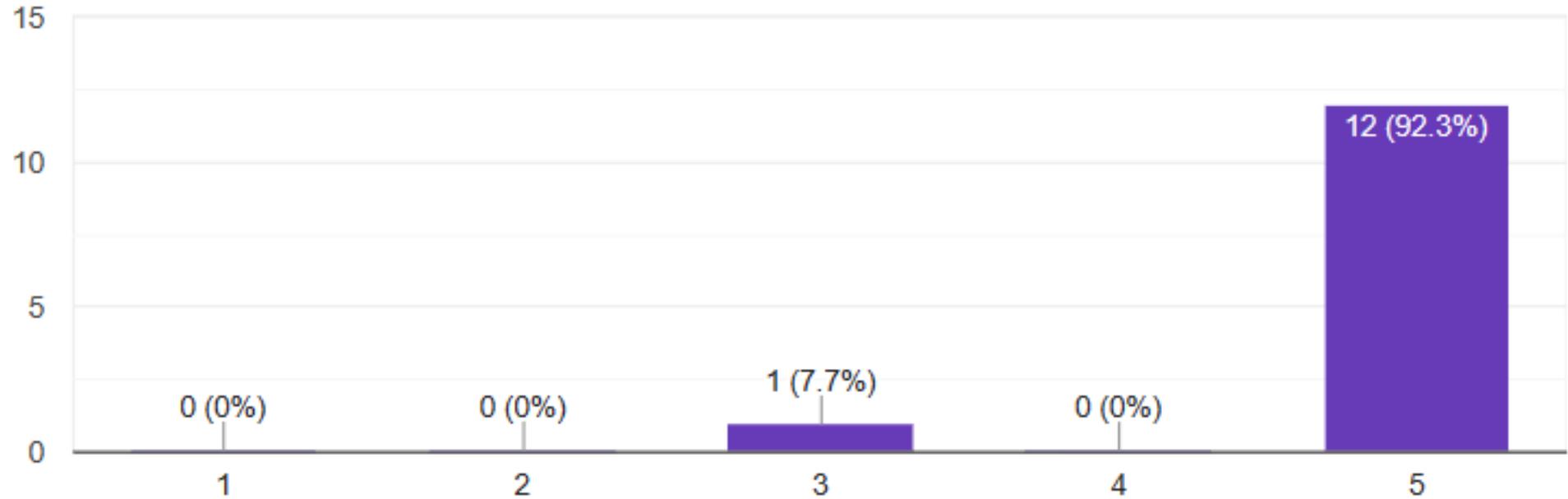
実習を行っている分野をノルマ設定することで取り組みやすい。

質問：
就活の満足度は？



多くの学生が満足である（4・5）と回答した。
3点とした学生は奨学金を受けていて就活をしなかった学生である。

質問： 就活の支援は適切か？



適切でない ----- 適切である

9割の学生が適切であると回答した。
3点とした学生は奨学金を受けていて就活をしなかった学生である。

回答理由：

実習と並行しての就活だったが面接練習等十分に対応してもらえてよかった。

情報提供や履歴書、面接練習を丁寧に対応してくれたから。

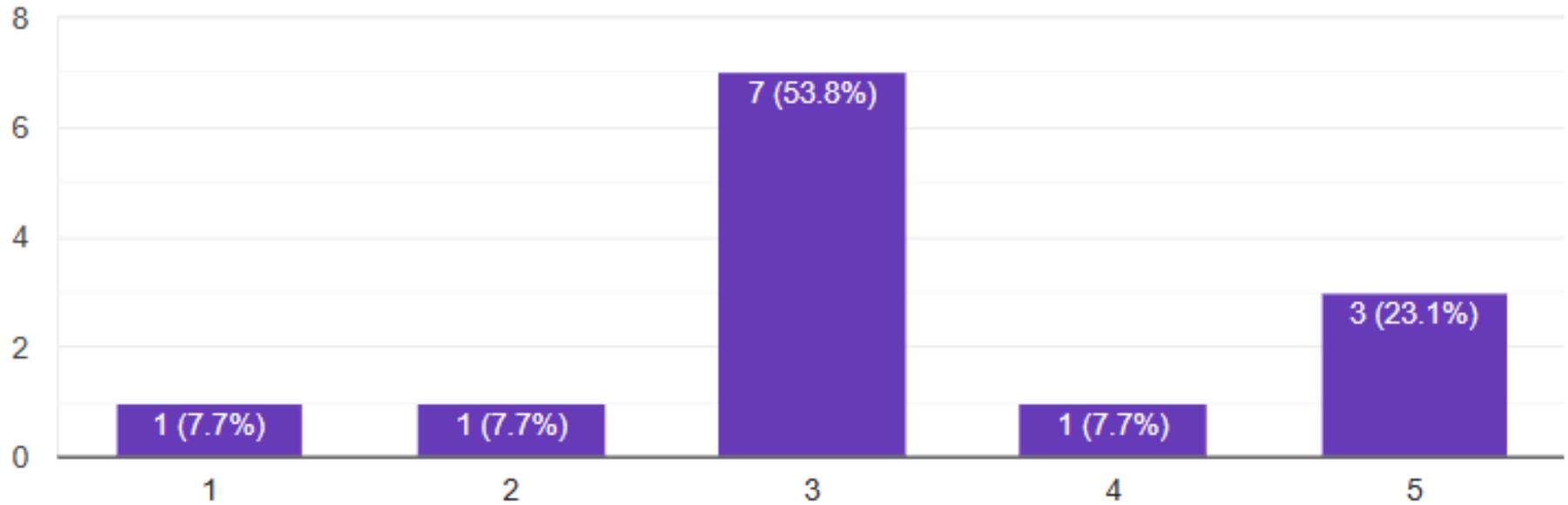
奨学金制度を利用していたので、就職活動はしていませんが、面談では前日に先生が面談練習をして下さったので、安心して行うことができました。

卒業生の先輩から直接お話を伺う機会を設けて頂けたり、就職試験直前の面接への対策や不安など相談させていただいてありがたかった。

就職試験の練習をしていただき、実際の面接試験で練習通りに行うことができました。

情報提供、相談対応、履歴書作成、面接練習など継続実施する。

質問：
就活と国試対策は並行してできたか？



出来なかった-----出来た

約半数の学生が3点と回答し、並行して出来たと回答した学生が約3割であった。

回答理由：

実習と就活、国試勉強が重なったため就活を最優先したがまあまあできたと思う。

並行してある程度行うことができたと思います。

いつ頃何をすべきかといった就活への準備や流れなどを早めに教えてもらって心の準備もできたので、落ち着いて向き合えた。

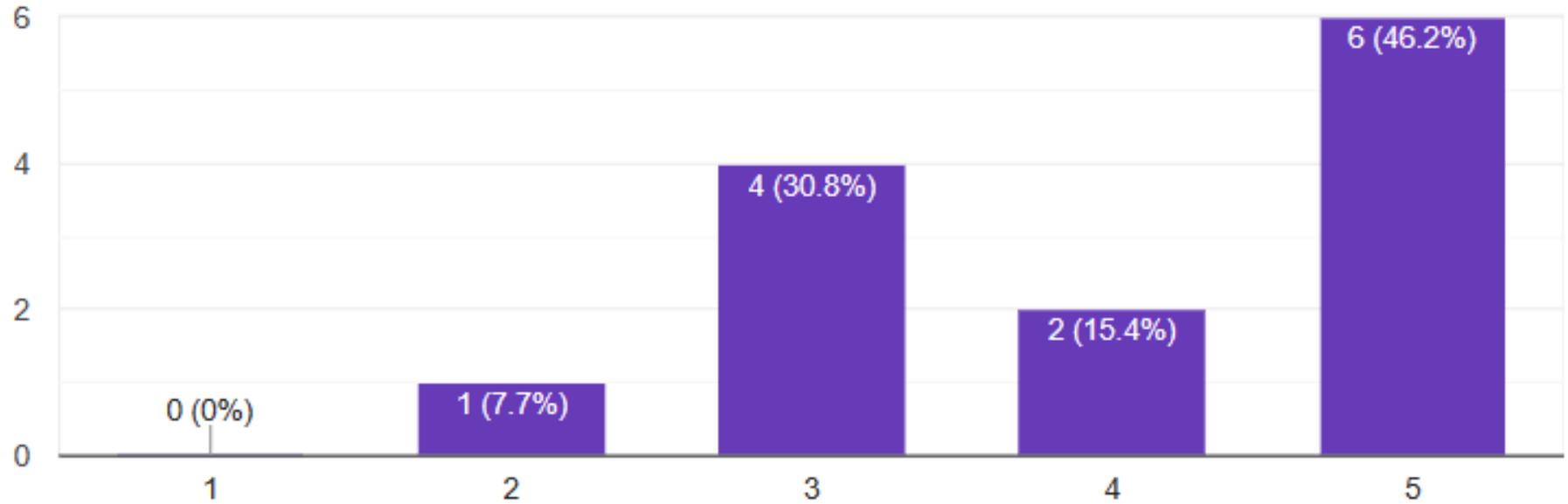
就活中は、面接練習や一般常識問題を解くなどを行っていたため、国家試験と並行して行うのが難しい日が何日かありました。

就活はさほど国試勉強に支障がなかった。

就活スケジュールを早めに、具体的に学生に伝える。

就活の国家試験対策に及ぼす影響は最小限に留めるようにする。

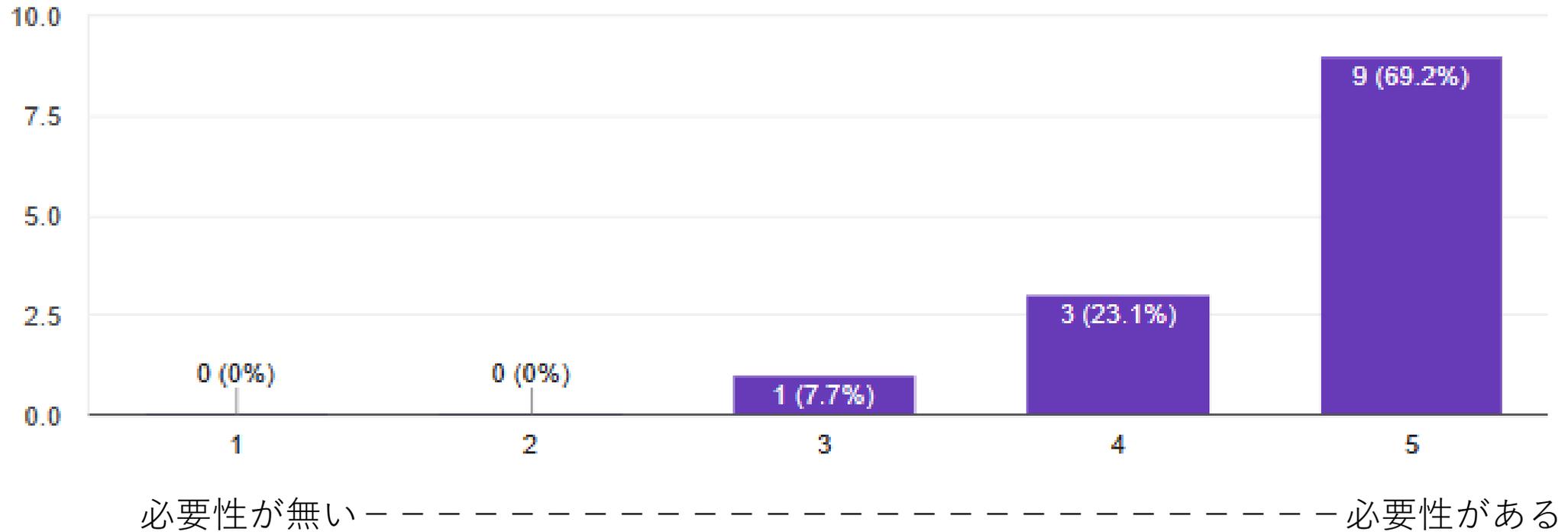
質問：



出来なかった ----- 出来た

約6割の学生がノルマを意識した取り組みを行えたが、約3割の学生は3点（どちらともいえない）と回答した。

質問：
国家試験勉強で毎日のノルマを設定する必要性はありましたか？



ほぼ全員が日々の勉強ノルマ設定の必要性を感じていた（92.3%）。

回答理由：

ノルマを設定することでコツコツ勉強に取り組みました。

ノルマのように目安があると予定を立てて勉強しやすかった。

グループの皆と一緒にノルマを進めていました。ノルマがあったほうが、計画的に勉強を進められました。

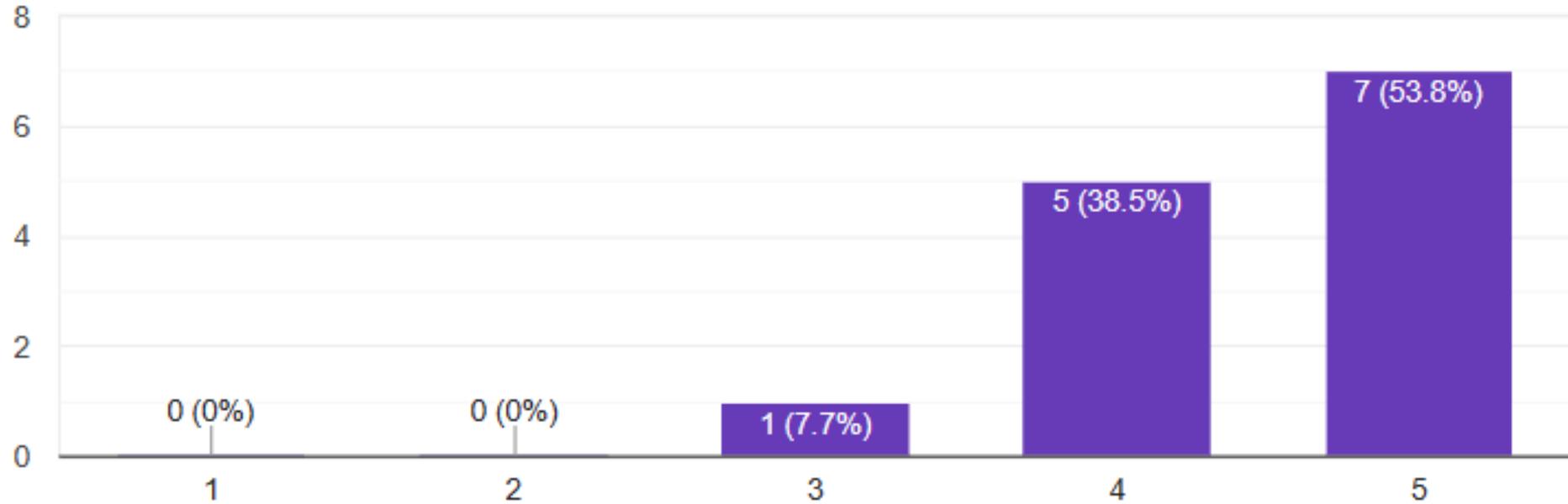
大事かなり

基本ノルマ通りに行い、基礎を高めることができたと思います。ノルマがあることが行うべきことがわかりやすかったです。

ノルマがあったからそこはやらなきゃ！と勉強をする事が出来た。多分無かったら全然やれてなかったと思う。

ノルマを設定する必要性は感じているが、一方でうまく行えない学生も存在する。実態に合わせた個別での微調整が必要。

質問：
模試の回数は適切か？



適切でない ----- 適切である

約9割の学生が模試の回数は適切であると感じていた。

回答理由：

たくさん模試ができてよかったです。

模試により点数に差がかなりありメンタル面を鍛えることができたと思う。

実践を沢山詰めてよかったです。

初めは試験になれるところから、後半は毎週末、自分の現状の確認に、と模試の目的も変わってくると思うため頻度を増やしていくのは有意義であると思う。

適量だったと思います。多すぎず少なすぎず、金曜日の設定もすごくよかったです。

1月からの週一の模試は復習が追い付かなくて大変な面もあったが、様々な切り口からの設問に触れる機会を得られたことは良かった。模試の結果は苦手分野を見つける指針として活用し、点数に振り回され過ぎないことも大事だと感じる。

**模試は実践経験として有益と感じている。
2023年度の設定を継続して問題ないと思われる。**

国試対策で辛かったこと、して欲しかったこと その他

なかなか模試の点数が上がらなくて毎回泣いていました。どうしていいか分からなくなってきた時に先生方がアドバイスしてくれたり大丈夫だよと声をかけてくれて安心しました。慰めるとかはやって欲しいと思います。

苦手な範囲の勉強。

終始200点を超えられず、クラス内順位が落ちていく事が辛かったです。終盤、伸び悩みが響き、精神が不安定になっていましたが、静かな部屋(会議室)をお借りでき勉強できたのが良かったです。もっとはやくお借りできればよかったです。。

ずっと順位下の方で点数も周りに比べて上がる事がなかった事。自分の努力不足と意思、メンタルの弱さが原因なので、して欲しかった事とかは特に無いです。

なかなか成績が伸びなかったことが辛かったことです。その時にして欲しかった事としては、どこから復習していけば良いのかについてアドバイスが欲しかったです。

**慰め介入、苦手分野の勉強・勉強方法（復習方法）指導、環境設定を行う。
学生の精神面での不安定さについてはちゅいを払って関わる。**

23期生から24期生へアドバイス①

最低限ノルマはやる！教え合う！選択肢を全て訂正する！！

やった分が自信に繋がるため、勉強時間の確保や友達を頼りながら気を貼りすぎずに頑張ってください

落ち着いて頑張ってください！

問題を解く時に、ただ暗記するだけじゃなくて、その回答が何故それになるのかなどを調べたりすると頭に残りやすいです！あとは、友達と楽しく勉強してください！

やれば何とかなる

早め早めの行動がその後の自分を救ってくれます。日々の積み重ねは着実に力になっていると思います。不安は終わるまで拭えないと思いますが、思い詰め過ぎずほどよく息抜きする事も大事です。仲間や先生をはじめ頼れる事には目一杯頼って自分を信じて行動あるのみ！

23期生から24期生へアドバイス②

問題の難易度が高いのではなく、自分との戦い！絶対わからないと思ったら負け！！（本当に難しい問題は捨てるのもありかも、）でも週6頑張ったら日曜日は好きなことをして過ごすことをおすすめします。

早いうちから模試や国試の過去問に取り組んだ方が良いと思います。

コツコツと知識を入れて、1人で悩んだらすぐに友達や先生を頼りましょう。一日中友達とやるよりかは空気を入れ替えるつもりで先生や他の友達の考えも聞くと頭に残りやすいです。

国試対策は、時間をかけて問題を繰り返し解き、苦手・わからない点を一つ一つ丁寧に潰していけば、知識の定着に繋がると思います。そして最後は、パッションです。頑張ってください。

手当たり次第でもいいので国試過去問に手を出し、戦いの中で成長していくイメージを持っていても良いかもしれません。

23期生 千葉医療への思い・感想①

少人数のため、授業や実習、国試対策等丁寧に指導して頂けて良かったです。

先生方がしっかりサポートしてくださいました。

本当に仲間と先生に恵まれていたなとおもいます。親しみやすすぎてたくさんわがまま言って迷惑もかけてしまったんですけど、最後まで支えてくれて感謝しています。。

4年間、あっという間でありました。おそらく最後の学生生活という事で、大変有意義な日々を送らせて頂きました。作業療法士という職柄又は、専門学校という組織からなのか、高校・大学・その他の中では最も身近で丁寧な指導を頂いたのと同時に、そういった先生方の対応より、寄り添う事の大切さを行動より学ばさせて頂きました。重ねて得難い体験をさせて頂きました。この学生生活で学んだ事をこれからの職務にて生かしていこうと思います。本当にありがとうございます。

4年間本当に長いように思っていました。あっという間に、もう卒業なんだなという気持ちです。楽しい事も大変な事もきつい事も色々ありましたが、その全てがいい経験であり、何事にも変え難い思い出なんじゃないかと思っています。

23期生 千葉医療への思い・感想②

作業療法に関する様々な専門的な知識を先生方の丁寧な説明で身につけることができ、先生方には感謝の心でいっぱいです。感謝実習に関しても、始めは緊張が強く大変でしたが、総合実習では、積極的に現場の実習指導者から様々なことを学ぶことができました。クラスでは、良いクラスメイトからたくさんの刺激を受けて切磋琢磨できていたと思います。この学校に入学して本当に良かったと思います。4年間ありがとうございました。

どのような状況であっても常に前向きな言葉に変換して学生をサポートしてくださるOT科の先生方に触れ、作業療法の懐深さを実感しており感謝しかありません。また学年を超えて交流していける雰囲気は、実習先での卒業生の先輩方とのつながりにも通じ、千葉医療の絆の深さを感じました。ありがとうございました。

4年間、本当にお世話になりました。とても大切な時間でした。成長できたと感じています。ありがとうございました。

23期生 千葉医療への思い・感想③

先生方に、気兼ねなく相談できたり、最後までしっかり指導していただいた事で、自分は4年間やっていく事ができました。本当にありがとうございました。このスタンスは、継続していただけるといいなと思いました。

とてもあっという間でした。先生との距離が近く何でも質問、提案しやすい環境でした。残り少しの学生生活を楽しみます。

四年間ありがとうございました！

大変、温かみのあるご指導をしてくださる学校だと思います。先生方のお身体が心配になるほどに働き者の方ばかりです。本当にありがとうございました。いつかまた、何かの形で母校に関わることがあったら嬉しいかなとも思います。

24期生
国家試験対策
計画

24期生 国家試験対策 改善項目

・国試対策

成績確認・状況把握について

→平均点などの数値を把握する意義について理解

勉強環境設定（状況に合わせて個室の用意など）

学習ノルマ設定を行う（実施状況を確認しつつ国試直前まで）

ノルマ実施状況確認

リハドリル導入にあたって具体的な方法提示し、実践してもらう

出願判定試験導入

→11月下旬 基準＝偏差値37以上（上位90.32%）

24期生 国家試験対策

- 自律性：議長を中心に話し合う機会の設定と朝の会と夕方の会の運営
- 健康管理：食事、睡眠～生活リズム意識づけ、指導
 - ストレス対処
 - 問題軽減法＝就活、国試対策への具体的支援
 - 情動軽減法＝福利厚生係を中心に1回/月のイベント
 - 勉強環境設定（鼓室の用意など）**
- 学習：**成績確認、状況把握の方法 平均点などの数値を把握する意義について説明（3月、9月）**
 - ノルマ設定を行う（実施状況を確認しつつ国試直前までノルマ設定を行う ※実習中の実施状況把握）**
 - 基礎強化（9-10月に基礎3科目強化勉強会）
 - 早期に重点介入グループ、個人の特定、仲間同士の支え合い
 - ドリル（問題演習の量確保、隙間時間の活用など具体的な方法提示）**
 - 4年生進級試験の意義を伝え、試験対策支援を強化する+基準検討
 - 出願判定試験 11月下旬 医歯薬① 基準＝偏差値37以上（上位90.32%）**
- 模試：2022年度同様（医歯薬3+1回+アイペック4回+三輪1回）
 - 目安＝全国平均+20点、偏差値60 ※最低でも全国平均、偏差値50
 - 緊張感のある環境で実践的練習であることを意識させる
- 就活：具体的スケジュールを提示（3月、8月）
 - 10月末までに全員内定

24期生 国家試験対策 年間予定

月	内容
12月	国家試験・進級試験説明
1月	評価実習 QBノルマ設定 (QB共 5問/日)
2月	進級試験模試、進級試験対策学習 (教員学習支援、学習方法伝達)
3月	進級試験 (40%以上)、実習中国試対策検討、実習前学習 (グループ・個人)、就活説明
4月	実習中学習 (QB共 5問/日) QB実施状況確認 <u>ドリル導入</u>
5月	実習中学習 (QB共 5問/日) QB実施状況確認
6月	校内模試 (50%以上)、実習中学習方法検討、実習中学習 (QB共通 5問/日) QB実施状況確認
7月	実習中学習 (QB共 5問/日 <u>QB共1週目完了</u>) QB十種状況確認
8月	実習中学習 (QB共10問/日 専10問/日)、学習G結成、校内模試 (150点以上)、就職説明会
9月	就活・国試対策 (QB共10問/日 専10問/日)、 <u>基礎強化勉強会</u> 、校内模試 (<u>200点以上</u>)
10月	就活・国試対策 (QB共15問/日 専15問/日)、校内模試
11月	国試対策 (QB共15問/日 <u>2週目完了</u> 専15問/日 <u>1週目完了</u>)、 <u>業者模試</u> ※出願判定：基準偏差値37
12月	出願 国試対策 (QB共30-40問/日 専30-40問/日)、 <u>業者模試 (180点以上)</u>
1月	国試対策 (QB共50問/日 <u>3週目完了</u> 専50問/日 <u>2週目完了</u>) <u>三輪170点以上</u> 、 <u>業者模試210点以上</u>
2月	国試験策 (医歯薬ライセンス 国試過去問10年分 400問/日) 卒試220点以上、 <u>国試200点以上 = 全員合格</u>